

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	パワードライブ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対象ボール：オーバードライブ

フレアーの幅 インチ

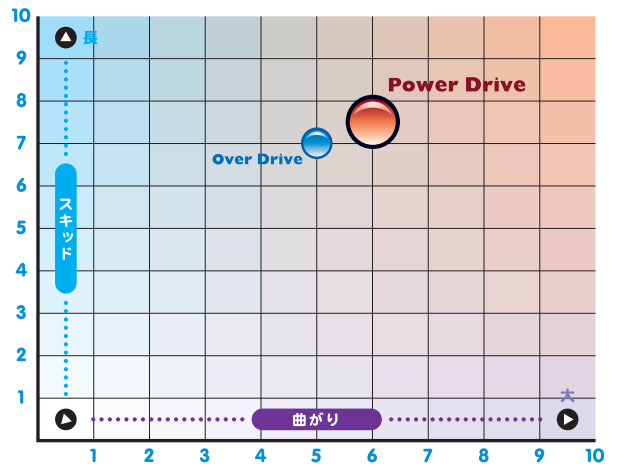
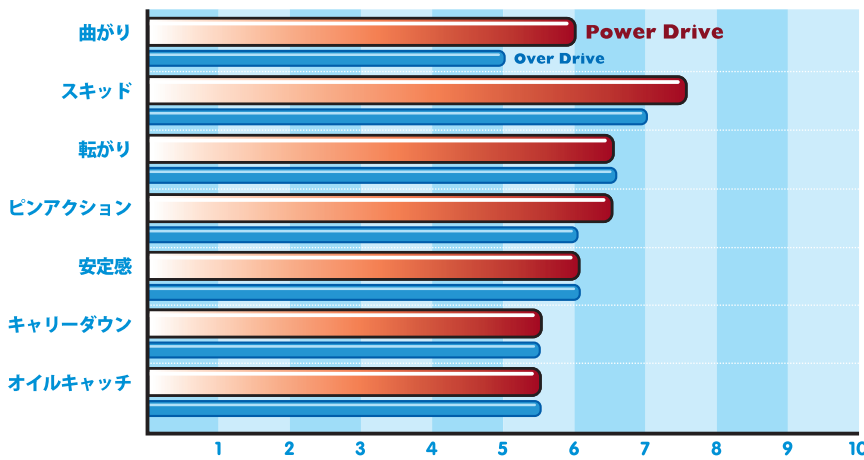
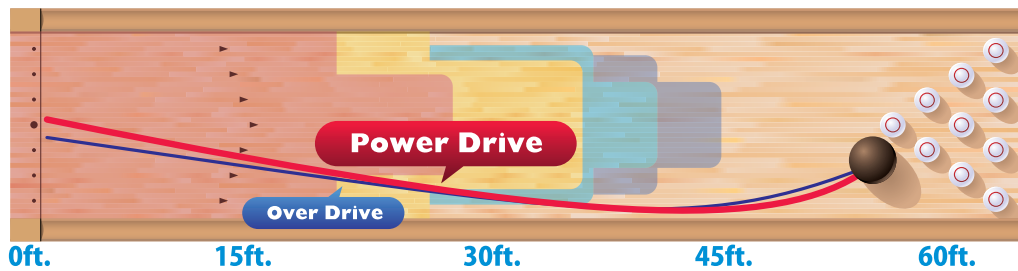
PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



ボールの評価

前回の OVER DRIVE は非対称コアだったが、今回の POWER DRIVE は対称コアでの設計。カバーストックも Accelerator をリアクティブ感のある素材に変更。OVER DRIVE でのリアクションを補うかのように走りとバックエンドの動きを強調させた仕上がり。曲がり幅的には中間層の設定でホッケー・スティックの曲がり。バックエンド・リアクションのメリハリが出ているため、OVER DRIVE より曲がり幅は大きい。クリーンな走りの良い転がり感があり、バックエンドでエネルギーを開放する設定であり、キャリアダウンやオイルが多いコンディションでは安定感に欠けるような挙動をみせる。そのため主にミディアム系のコンディションでそのパフォーマンスは発揮できるボールと言えるでしょう。

しかしドライ部分での反応は良く、方向を変えようとする動きが見られるため、ある程度手前のオイルがしっかりとしたコンディションでないとバックエンドでのメリハリのあるリアクションは得られないでしょう。言い換えればドライ部分までボールを運べれば、出し戻しがきくボールとも言える。ボールに与える回転数やスピードで大きくそのパフォーマンスが変化しやすいことから、回転数の多いボウラータイプには好まれる傾向であり、ストローカータイプには曲がり感が少なく感じるように思われるでしょう。

特記事項

ブルーとシルバーのマーブルで、今からの時期に最適な爽やかな配色。光沢もあり女性にも扱いやすいスペックでしょう。